

○3節-2 ノリ養殖業・貝類漁業対策

2-(1) 貝類資源調査結果(平成26年12月現在)

- 平成26年12月のアサリ分布密度は57個/m²(全点平均)で、前年12月(39個/m²)より多く、過去5か年平均(39個/m²)も上回りました(図2)。大きさの主体は殻長11~23mmでしたが、殻長30mm以上が過去5年間より3.5~7倍ほど多い状況でした。
- 平成26年12月のホンビノスガイ分布密度は7個/m²(全点平均)で、前年12月(14個/m²)より少なく、過去5か年平均(15個/m²)も下回りました。大きさの主体は殻長11~16mmでした(図3)。

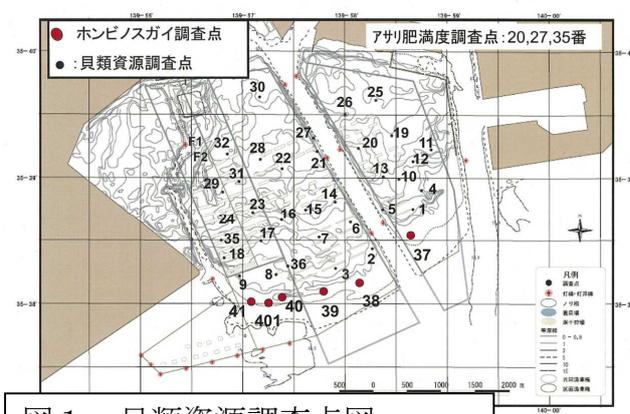


図1 貝類資源調査点図

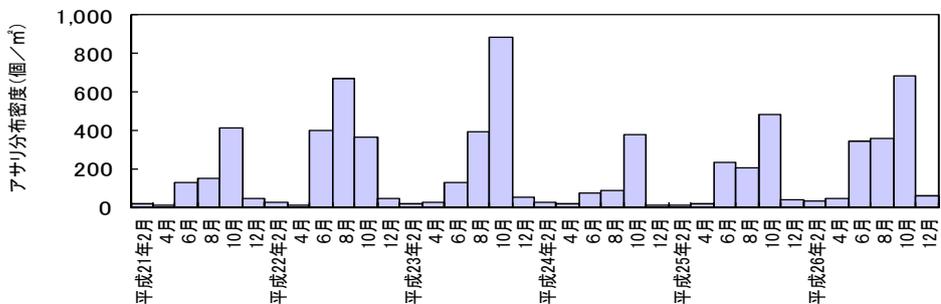


図2 アサリ分布密度の推移(三番瀬全体)

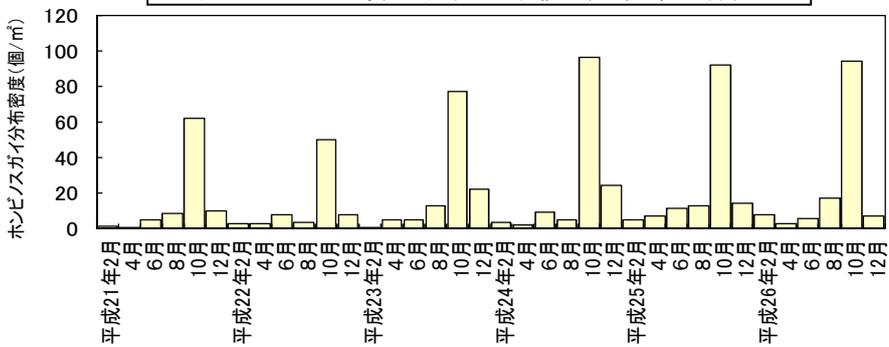
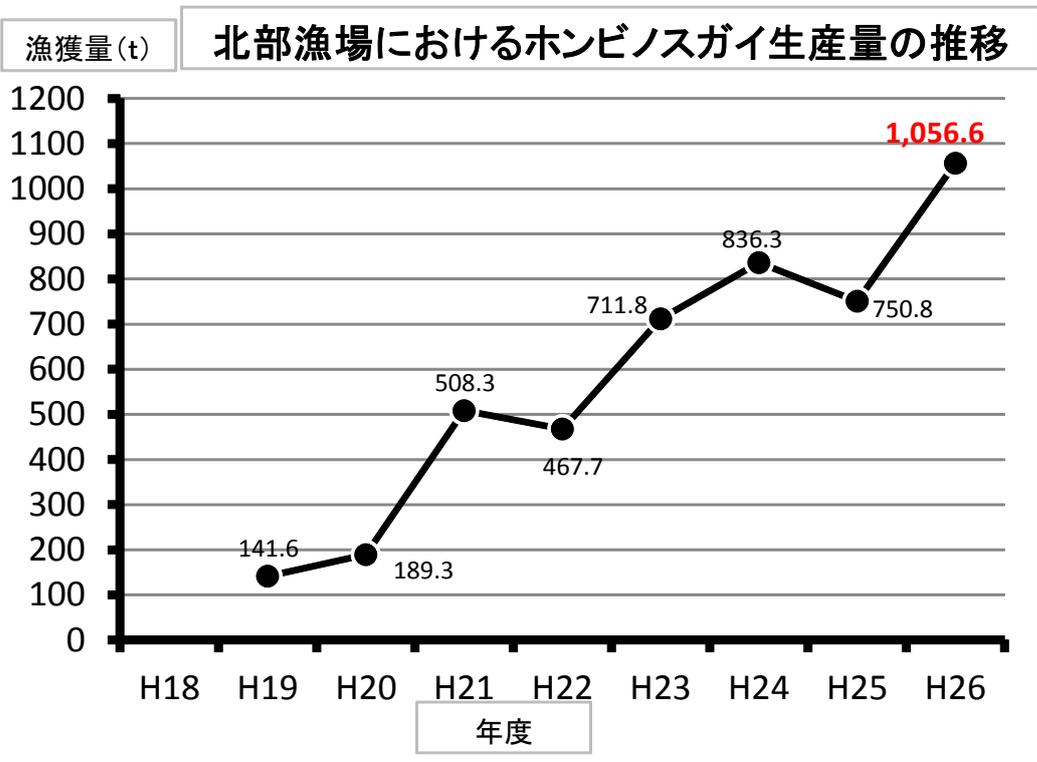
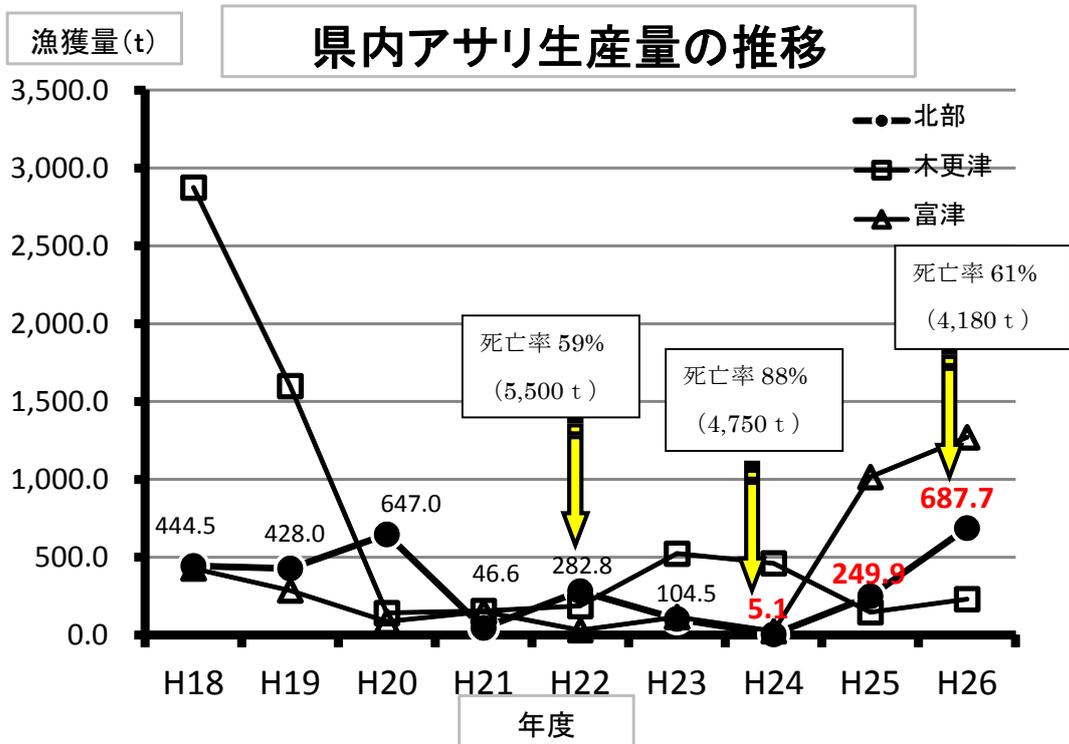


図3 ホンビノスガイ分布密度の推移(三番瀬全体)



○三番瀬のアサリ漁獲量は増加傾向である。
 ○ホンビノスガイは、漁獲量が増加し、資源の有効利用は図られている。